

第八期第5回 中海自然再生協議会

於：認定 NPO 法人自然再生センター事務局

日時：2023 年 2 月 18 日（土）13 時 30 分～16：45

議長：國井協議会会長

参加者 16 名 オンライン参加者 21 名

1. 話題提供（13：30～14：30）

ステークホルダーによる認定 NPO 法人自然再生センターの評価

自然再生センター毛利理事より、自然再生センターの活動目的や事業、また今年度行った Panasonic プロボノでのアンケート結果が発表された。（資料①）

Q: 国交省) 行政の評価が低いが、今後アンケート結果を受けてどのように展開されていくのか。

A: 毛利) 行政は担当者が変わる難しさもあるが、企業と連携していく中で今後は行政とも絡んでいきたいと考えている。

松本) 人・者・コトをつなぐとき、行政とつながっているところもある。そこを見つけてあげていきたい。今回のレポートを糧として行政との関係を補強していきたい。

Q: 宇都宮) ミズベリング松江会議や、堀川の水質改善の団体とつながっているか。

A: 小倉) 堀川水質改善とは、別のところ（アカミミガメの駆除）でつながっている
国交省) ミズベリング松江協議会は現在、松江市の方で運営されていると聞いている。

Q: 菊地) Panasonic プロボノに興味深く聞いた。参加者くくりとなっているがそれぞれの職業別の（例えば教育者や、研究者）評価や感想があればほしい。

イベント参加が評価の物差しになっているが、イベントに参加しない一般市民が実際の自然再生活動に参加できないことが問題のはずだが、そんな一般市民の日常的な活動としての事業予定はあるか。

A: 毛利) 特別な職場のスキルをつかってという訳ではない。

研究者等のくくりにはなっていない。

日常的な参画については、客観的評価をいただいたことで不足部分を認識し地域の人たちへの活動展開を把握し今後進めていきたい。

2. 協議事項

第3期事業実施計画

【浚渫窪地】

島根大学桑原先生・倉田先生から発表（資料②）

- 西村) 中海に依然として汚い水が流入している。マテリアルバランスはとっているか？
汚染源をなくさず山形覆砂をやってもどうか。両方からやらないと意味ないのでは？
- 桑原) その通りです。昔ほど窒素・リンの流入は多くないが、自然の負荷は難しい。
湖底の循環は、覆砂をしても効果は一時的だが、表面に生き物が出てくることは希望が持てる。
- 西村) 宍道湖と中海はかなり様子が違ってきている。宍道湖の方が改善されている。米子湾が特に改善必要。西部浄化センターからの大水・大雨時にオーバーフローが起きるのではないか？
- 松本) 発生源について。浄化施設は定期的に点検していてオーバーフローは何年もない。
農薬についても自然農法とかにスライドし改善している報告を受けている。
- 國井) 以前は覆砂では効果が無く浅場造成に移行していたが、この山形覆砂の実証結果を受けて行政からコメントがもらえないか。
- 島根県) 鳥取島根両県知事の協定に基づき、国、両県、沿岸市の行政機関を構成員とする中海会議の共通認識として、平成28年度から底質や窪地が中海の水質に与える影響について両県で検証した結果、窪地が水質に与える影響については、流域からの流入負荷と比較するとその影響は非常に小さいというのが結論であり、流入負荷対策に優先的に取り組んでいる。
- 鳥取県) 令和4年度の中海会議では、硫化水素等の底質成分のモニタリング調査結果を報告しました。今後も米子湾の底質の調査を継続していきたいと考えております。
- 宇都宮) 宍道湖は、海底をしじみ漁でかき回していることが海底の改善に良いのでは。流入負荷は仕方ない。米子湾は、遠浅なので国・県で攪拌するなどの対策が欲しい。
- 國井) 流入負荷等については、また次回お願いします。
- 漁協) 中海会議で去年、平井知事が浚渫窪地の調査をすと言っていたがされたのか？
- 国交省) 中海会議でも両県において窪地の影響について研究されており、報告されている。
- 桑原) 窪地の影響は1%程度しかない。示された結果からは、外海洋の方が水質が汚い結果が出ている。

【海藻の利活用】

- 宇都宮) オゴノリには漁の期間・漁業権は決まっていないのか？
- 倉田) 農業者が畑に蒔くために都度とっている。期間は決まっていない。
- 宇都宮) もっと取りたい人が出てきたときはどうするか。
- 倉田) 現実的にお金になるかわからない、獲高も毎年違うので事業として成り立つかはわからない状況がある
- 小倉) 日南町には使用する分だけ肥料化して提供しているのでセンターは採算とれる。

宇都宮) 研究に対して行政から補助金出ないのか？

国交省) 国交省では補助金を出すことはできない。

島根) すぐに補助金を出すことにはならないが、共有して認識していきたい。

【要望書について】

国井) 自然再生センターからの要望書は理事会で承認され内容が決定している。

漁業組合分は、次回の組合で内容を確認してもらう予定と聞いている。

今回、中海自然再生協議会からの要望書ついて意見をいただきたい。

国交省) 国交省として米子湾の大規模浚渫後、窪地覆砂も行ったが、持続性と費用対効果に問題があるため、沿岸域の浅場整備・覆砂に転換しているのが水環境事業の経緯である。窪地による影響は流入負荷に比べれば小さく、膨大な覆砂量を考えると費用対効果も期待できない。今後、自然再生事業により、流域全体の自然再生を目指す予定であり、中海の窪地に特化した事業は難しい。ただし、中海の自然環境を良くしていくという方向性は同じであるため、中海において浅場整備・覆砂を引き続き実施していきたい。硫化水素は窪地からのみ発生しているわけではないと認識している。貧酸素状態になれば、湖底から硫化水素が発生するのは全域で起こりうる話であり、窪地だけ覆砂により抑えても効果は小さいと考えられる。

環境省) まだ確認取れていないが事業実施にはハードルが高いと担当者レベルでは思っている。方向性については揃えたいし、何らかの援助はしたい。

要望書提出は構わない。

島根県) 中海の管理者は国であり、事業主体は国となると考えている。

なお、先ほど述べたように、窪地が水質に与える影響は、流域からの流入負荷と比較するとその影響は非常に小さいというのが中海会議関係者の共通認識である。

鳥取県) 自然再生協議会の設立根拠は、自然再生推進法第8条です。自然再生協議会の事務として、当該協議会名でその委員となっている関係行政機関へ要望書を提出することは、難しいのではないかと考えております。

つまり、法は、委員となっている行政機関に要望活動を行うことをそもそも想定していないのではないかと考えております。

山本) 窪地の修復は(N, Pの循環の点では)中海全体には影響ないのかもしれないが、窪地を掘ったのは誰かを考えたとき、修復をやらないわけにはいかないのではないかと。要望書が簡単すぎる。もっとハイビーズの効果等の資料を添付して欲しい。

水質予測シミュレーションで、硫化水素の発生に焦点が当たっていない。

国井) 要望書に実施計画案1, 2などの資料は添付することになる。

桑原) 山形覆砂では山の上で硫化水素は少なく、底の部分は多い。単純に覆砂するより面積的に硫化水素の発生を低減できる。

松本) 現在は、環境基準に加えて底質を守るという考えに代わってきている。

漁協) 「覆砂が効果ない。」というのではなく各方面からもっと調査したらどうか

大雨等で赤貝が取れなくなった。最近の線状降水帯や高潮の影響も含めた調査を希望する。

山本) 窪地が水質に与える影響が小さいとの認識は何ですか？N/P/CODが基準ですか？

島根県) そうです。

國井) 中海の自然再生の方向性は同じだが、手段が違っているのだと今回認識できた

山形覆砂は溶存酸素や硫化水素に関して改善がはっきり見られている。

行政に、真剣に浚渫窪地の取り組みの効果について認識して欲しい。

鳥取県)

自然再生推進法第8条第2項第3号の自然再生事業の実施に係る連絡調整を行うことが、要望活動を含んでいるのか、また、事務局としてどのように整理されているのかを教えていただきたいと思います。

また、自然再生推進法、中海自然再生協議会の規約を確認しても、合意形成を図るルールが定められていません。今後、どのような方法で意思決定されていくのかを教えていただければと思います。

國井) 合意形成は協議の中で全会一致の場合進める。要望書については、再考が必要。

山本) (「協議会」という名称から、協議する場であるという) 鳥取県の意見が正論と思う。

また協議してきたことは、担当者の異動変更等での影響引継ぎがなされていないということもあるので、要望書は再度見直す必要があるのでは？

國井) 今一度持ち越し協議をしなければならぬことが分かった。

第9期になる前に、今のメンバーでもう一度協議会を開きたい。

山本) 費用対効果の観点を含め、まだ協議をやる必要があると思う。

国交省) 窪地はそもそも農水省の干拓事業によりできたものであり、国交省は河川管理者ではあるが、窪地の問題を全て国交省が対策する点も整理が必要である。

現状の費用対効果を踏まえても非常に厳しい事情もあり、簡単に要望書を受けることはできないことを理解いただきたい。

國井) 今期メンバーで3月にもう一度協議を行いたい。継続協議とする

3. 報告事項

全国自然再生協議会に参加の報告が、センター小倉副理事長から発表された。

(資料③)